



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 黒崎播磨株式会社 上場取引所 東・福
コード番号 5352 URL <https://www.krosaki.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 江川 和宏
問合せ先責任者（役職名） 執行役員総務部長（氏名） 西山 肇（TEL）093-622-7224
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	88,405	0.4	7,421	18.1	8,006	22.4	10,746	158.1
2025年3月期中間期	88,090	△1.5	6,282	△17.3	6,540	△23.9	4,163	△37.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 9,003百万円（83.1%） 2025年3月期中間期 4,916百万円（△47.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	319.10	—
2025年3月期中間期	123.63	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	176,548	108,423	57.7
2025年3月期	187,058	101,640	50.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 101,873百万円 2025年3月期 94,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	60.00	105.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	1.2	15,000	6.5	15,000	△2.1	15,500	23.6	460.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社(社名) Krosaki Middle East and Africa Ltd.、除外 —社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	36,458,112株	2025年3月期	36,458,112株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,781,805株	2025年3月期	2,781,034株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	33,676,621株	2025年3月期中間期	33,677,834株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況	2
(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
3. その他	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間連結会計期間の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)における我が国経済は、米国の通商政策等による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、当社グループの主要顧客である鉄鋼業界においては、建設向け・製造業向けともに国内鋼材需要が低調であることに加えて、中国による鋼材の過剰生産と全世界に向けての低価格での高水準の輸出継続影響を受け、当中間連結会計期間の国内粗鋼生産量は、前年同期に比べ4.2%減の4,008万トンとなりました。また、世界鉄鋼協会発表による2025年1～9月の粗鋼生産量は、インドは前年同期に比べ10.5%増の1億2,240万トンであったものの、世界全体では前年同期に比べ1.6%減の13億7,380万トンとなりました。

このような厳しい経営環境の中、生産性向上・歩留まり改善等の自助努力によるコストダウン施策や、耐火物事業における原料・エネルギー価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁の実施に加え、インド事業の拡大やファーンネス事業における工事案件の着実な受注等2025見直し経営計画で掲げる各種施策に取り組んだ結果、当中間連結会計期間の経営成績は、前年同期比で増収増益となりました。

〔売上高〕

前年同期に比べ3億14百万円増加の884億5百万円（前年同期比0.4%増）となりました。国内外での粗鋼生産量減少に対して、耐火物事業における原料・エネルギー価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁及びインドでの拡販等を進めたことにより実力ベースでは増収となったものの、円高の進展に伴う円換算売上高の目減りにより耐火物事業の売上高は減収となりました。一方、ファーンネス事業における工事案件の増加等により、全体では増収となりました。地域ごとの売上高は、日本が478億5百万円（前年同期比2.3%増）、インドが208億15百万円（前年同期比0.9%減）、アジアが40億14百万円（前年同期比0.7%増）、欧州が85億68百万円（前年同期比10.7%減）、その他が72億1百万円（前年同期比6.3%増）となり、海外売上高は405億99百万円（前年同期比1.9%減）、海外売上高比率は45.9%（前年同期比1.0ポイント減）となりました。

〔売上総利益〕

前年同期に比べ14億63百万円増加の185億14百万円（前年同期比8.6%増）となり、売上総利益率は、前年同期に比べ1.6ポイント増加の20.9%となりました。

〔営業利益〕

前年同期に比べ11億38百万円増加の74億21百万円（前年同期比18.1%増）となり、営業利益率は、前年同期に比べ1.3ポイント増加の8.4%となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期に比べ3億24百万円増加の110億92百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

〔経常利益〕

前年同期に比べ14億65百万円増加の80億6百万円（前年同期比22.4%増）となり、経常利益率は、前年同期に比べ1.6ポイント増加の9.1%となりました。営業外収益は、受取補償金の増加により前年同期に比べ3億46百万円増加の10億22百万円（前年同期比51.3%増）、営業外費用は、支払利息の増加により前年同期に比べ19百万円増加の4億37百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

〔親会社株主に帰属する中間純利益〕

前年同期に比べ65億82百万円増加の107億46百万円（前年同期比158.1%増）となりました。特別利益は、固定資産売却益の増加により前年同期に比べ83億50百万円増加の83億62百万円（前年同期比721.1倍増）、特別損失は、公開買付関連費用の計上により前年同期に比べ4億4百万円増加の4億56百万円（前年同期比773.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

なお、各セグメントの売上高は、外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれていません。また、セグメント損益は営業利益ベースです。

〔耐火物事業〕

売上高は、国内外の粗鋼生産量の減少に対して、原料・エネルギー価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁及びインドでの拡販等を進めたことにより実力ベースでは増収となったものの、円高の進展に伴う円換算売上高の目減りにより、前年同期に比べ0.4%減収の750億10百万円となりました。利益は、マージン改善に加え、生産性向上・歩留まり改善等の自助努力によるコストダウン施策を進めたことにより、前年同期に比べ10.2%増益の61億19百万円となりました。

〔ファーンネス事業〕

売上高は、工事案件の増加に加え、資材等コスト上昇分の着実な価格転嫁を進めたことにより、前年同期に比べ11.0%増収の90億81百万円、利益は、売上の増加に加え、要員効率化等のコストダウンを進めたことにより、前年同期に比べ228.0%増益の9億83百万円となりました。

〔セラミックス事業〕

電子部品向け材料の受注が回復したこと等により、売上高は、前年同期に比べ9.8%増収の41億22百万円、利益は、前年同期に比べ61.9%増益の1億93百万円となりました。

〔不動産事業〕

売上高は、保有していた賃貸不動産の売却により、前年同期に比べ48.4%減収の1億90百万円、利益は、前年同期に比べ56.2%減益の1億32百万円となりました。

なお、前連結会計年度において、石灰事業から撤退したことに伴い、第1四半期連結会計期間から〔その他〕のセグメントを廃止しております。

（2）当中間連結会計期間の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態の状況を示すと、次のとおりです。

①資産

総資産は、前期末に比べ105億9百万円減少して、1,765億48百万円となりました。流動資産は同90億59百万円減少の1,170億89百万円、固定資産は同14億50百万円減少の594億58百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、スポット案件の入金に伴う受取手形、売掛金及び契約資産の減少によるものです。固定資産減少の主な要因は、売却に伴う投資有価証券の減少によるものです。

②負債

負債は、前期末に比べ172億92百万円減少して、681億25百万円となりました。流動負債は同124億51百万円減少の459億28百万円、固定負債は同48億40百万円減少の221億96百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、コマーシャル・ペーパーの返済によるものです。固定負債減少の主な要因は、振替に伴う長期借入金の減少によるものです。

③純資産

純資産は、前期末に比べ67億82百万円増加して、1,084億23百万円となりました。

純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月29日に公表した2026年3月期通期連結業績予想については、現時点では変更はありません。

なお、粗鋼生産量の変動による耐火物需要の変動や、耐火物原料市況の動向等により、業績予想値が大きく変動する可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,323	10,104
受取手形、売掛金及び契約資産	69,270	59,482
商品及び製品	18,345	18,065
仕掛品	5,145	4,928
原材料及び貯蔵品	16,474	17,144
その他	9,067	7,668
貸倒引当金	△477	△304
流動資産合計	126,148	117,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	49,385	41,815
減価償却累計額	△33,048	△25,397
建物及び構築物(純額)	16,336	16,417
機械装置及び運搬具	80,349	80,593
減価償却累計額	△61,394	△62,002
機械装置及び運搬具(純額)	18,954	18,590
工具、器具及び備品	6,707	6,836
減価償却累計額	△4,951	△5,047
工具、器具及び備品(純額)	1,756	1,789
土地	7,320	6,842
建設仮勘定	2,441	2,916
有形固定資産合計	46,809	46,557
無形固定資産		
のれん	3,094	2,871
その他	650	593
無形固定資産合計	3,745	3,464
投資その他の資産		
投資有価証券	3,966	3,039
退職給付に係る資産	4,625	4,593
繰延税金資産	165	172
その他	1,843	1,863
貸倒引当金	△246	△232
投資その他の資産合計	10,354	9,436
固定資産合計	60,909	59,458
資産合計	187,058	176,548

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	5,039	4,926
買掛金	17,054	16,098
短期借入金	7,905	9,664
コマーシャル・ペーパー	15,000	-
未払法人税等	1,432	4,228
賞与引当金	3,779	3,719
工事損失引当金	79	79
その他	8,088	7,210
流動負債合計	58,379	45,928
固定負債		
長期借入金	18,833	15,664
繰延税金負債	2,916	2,912
役員退職慰労引当金	527	520
退職給付に係る負債	586	540
資産除去債務	153	153
その他	4,021	2,404
固定負債合計	27,037	22,196
負債合計	85,417	68,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,537	5,537
資本剰余金	1,971	1,970
利益剰余金	81,125	89,850
自己株式	△1,671	△1,674
株主資本合計	86,962	95,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,878	1,225
為替換算調整勘定	3,950	2,873
退職給付に係る調整累計額	2,196	2,089
その他の包括利益累計額合計	8,025	6,188
非支配株主持分	6,652	6,549
純資産合計	101,640	108,423
負債純資産合計	187,058	176,548

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	88,090	88,405
売上原価	71,039	69,890
売上総利益	17,051	18,514
販売費及び一般管理費	10,768	11,092
営業利益	6,282	7,421
営業外収益		
受取利息	36	46
受取配当金	72	52
持分法による投資利益	151	164
為替差益	229	281
受取保険金	8	97
受取補償金	9	127
その他	168	251
営業外収益合計	675	1,022
営業外費用		
支払利息	172	189
固定資産撤去費	106	62
支払補償費	28	80
その他	109	105
営業外費用合計	418	437
経常利益	6,540	8,006
特別利益		
固定資産売却益	11	7,609
投資有価証券売却益	-	753
特別利益合計	11	8,362
特別損失		
固定資産売却損	4	3
固定資産除却損	11	138
減損損失	36	-
公開買付関連費用	-	314
特別損失合計	52	456
税金等調整前中間純利益	6,499	15,911
法人税、住民税及び事業税	1,721	4,389
法人税等調整額	145	317
法人税等合計	1,866	4,706
中間純利益	4,632	11,204
非支配株主に帰属する中間純利益	469	458
親会社株主に帰属する中間純利益	4,163	10,746

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	4,632	11,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△545	△652
繰延ヘッジ損益	△15	-
為替換算調整勘定	865	△1,359
退職給付に係る調整額	△129	△107
持分法適用会社に対する持分相当額	108	△82
その他の包括利益合計	283	△2,201
中間包括利益	4,916	9,003
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,572	8,909
非支配株主に係る中間包括利益	344	94

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

当社は、2025年8月1日開催の取締役会において、日本製鉄株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、現時点における当社の意見として、本公開買付けが開始された場合には、本公開買付けに対して賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨する旨を決議いたしました。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続により、当社の株主を公開買付者のみとすることを企図していること、及び当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。詳細については、2025年8月1日付で別途公表いたしました「当社の親会社である日本製鉄株式会社による当社株式に対する公開買付けの開始予定に係る賛同の意見表明及び応募推奨に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. その他

四半期ごとの経営成績の推移

（単位：百万円）

	前期				当期	
	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)
売上高	43,939	44,150	45,198	44,632	44,015	44,389
営業利益	3,121	3,161	4,115	3,683	3,539	3,881
経常利益	3,561	2,978	4,414	4,361	3,908	4,097
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,156	2,007	5,078	3,293	2,507	8,238